

元気で 活力ある 農業・農村 の再生



越前町では、農業の基幹作物である水稲を中心に、麦、大豆、ソバ等の土地利用型作物と越前水仙やタケノコなど、多種多様な園芸作物の農業を推進してきました。しかし、農家人口の減少、生産者の高齢化や担い手不足、農産物価格の低迷などを背景に、農業産出額や出荷量は年々減少傾向にあります。

このように農業農村をめぐる環境が急激に変化するなか、国においては環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉が平成27年10月5日大筋合意に至り、平成28年2月4日には協定が署名され、関税撤廃等による農業への打撃が懸念されています。そこで、国は新たな農業政策として、農地中間管理機構（農地バンク）の設立や農業6次産業化など「強い農業づくり」の政策を打ち出しています。

農業を取り巻く情勢が大きく変化するなかで、安定した農業生産の持続的発展と魅力ある農村地域環境の形成を図っていく必要があることから、「第3期越前町農業・農村振興ビジョン」を策定いたしました。

本ビジョンの基本理念である『元気で活力ある農業・農村の再生』を実現するために「環境に調和した農業の推進」「地域特性を活かした農業の展開」「多様な担い手の育成・確保」「活力ある農村の創造」の4つのキーワードに分け、国や県の制度を活用しながら、本町に適した独自の各種施策の推進に積極的に取り組んでまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年3月

越前町長 内藤 俊三

目次

| | | | |
|------------|-------------------------------|----|--|
| 序章 | はじめに | | |
| | 1. ビジョン策定の趣旨 | 4 | |
| | 2. ビジョンの位置付けと計画期間 | 4 | |
| | 3. ビジョンの進行管理 | 4 | |
| 第1章 | 国及び県の食料・農業を取り巻く環境の変化と農業施策 | | |
| | 1. 国内農業の情勢 | 6 | |
| | 2. 自然循環型農業の推進 | 6 | |
| | 3. 多様化する消費者ニーズの対応 | 6 | |
| | 4. 国の食料・農業・農村施策の方向 | 7 | |
| | 5. 福井県の農業施策 | 8 | |
| 第2章 | 越前町農業・農村発展の基本方向 | | |
| | 1. 越前町の概要 | 10 | |
| | 2. 越前町の農業・農村の現状 | 11 | |
| | 3. 越前町農業・農村振興の基本理念 | 12 | |
| | 4. 越前町農業・農村振興の基本目標 | 13 | |
| 第3章 | 越前町農業・農村発展の基本理念 | | |
| | 第1節 環境に調和した農業の推進 | | |
| | 1. 環境調和型農業の推進 | 15 | |
| | 2. 安全・安心な農業振興の推進 | 16 | |
| | 3. 有機農業の推進 | 17 | |
| | 第2節 地域特性を活かした農業の展開 | | |
| | 1. 水稻 | 19 | |
| | 2. 麦・大豆・ソバ・ホールクroppサイレージ・飼料用米 | 21 | |
| | 3. 園芸振興作物の推進 | 23 | |
| | 4. 6次産業化の推進 | 27 | |
| | 第3節 多様な担い手の育成・確保 | | |
| | 1. 地域に適した農業・農村振興 | 28 | |
| | 2. 担い手育成【認定農業者】 | 32 | |
| | 3. 担い手育成【集落営農組織】 | 33 | |
| | 4. 担い手育成【新規就農者・女性・熟年農業者】 | 34 | |
| | 第4節 活力ある農村の創造 | | |
| | 1. 優良農地の確保・適正管理 | 35 | |
| | 2. 耕作放棄地の解消 | 36 | |
| | 3. 農地の利用集積 | 37 | |
| | 4. 有害鳥獣被害防止対策の強化 | 38 | |
| | 5. 食育の推進 | 39 | |
| | 6. 地産地消の推進 | 42 | |
| | 7. 都市農村交流の推進 | 44 | |
| | 8. 農村景観と多面的機能の維持管理 | 45 | |
| | 9. 農業生産基盤の継続的な整備 | 46 | |
| 第4章 | ビジョン実現に向けての推進体制 | | |
| | 1. 役割分担 | 48 | |
| | 参考資料 | | |
| | 2. 数値目標一覧 | 51 | |